



表紙・特集

丹波の誇り 丹波大納言小豆

お知らせ

ぜんざいフェア開催中！

丹波の誇り 丹波大納言小豆

（農産振興課（春日庁舎内） ☎ 88・5028

丹波三宝の1つである「丹波大納言小豆」。全国有数の栽培面積を誇る丹波市では、古くから、農家が高い技術とこだわりを持ち、守り、育んできました。伝統ある「財産」を未来の子どもたちにもつなげたい。歴史や特色、生産・振興の取り組みを紹介します。



全国から求められる品質を持つ

「丹波大納言小豆」は、他産地の小豆と比べ大粒で皮が薄いのに煮ても煮崩れしないのが特長です。また、1粒1粒の光沢が美しく、糖分を多く含み味がよい小豆です。調理しやすく、他産地の小豆の約3倍の値段が付けられることもあります。和菓子の命「餠」の原料などとして、全国から非常に高い人気を得ています。

「大納言」の位に由来する名前

冠に「大納言」という言葉がつくのは、煮ても小豆の腹が割れにくいいため、切腹の刑を言い渡されないほどの高官である「大納言」という位にたとえて名付けられたと言われています。

また、俵型をしているため、縦に複数個積むことができることも特長です。



人々の暮らしを彩る

小豆は昔、水田や畑の周囲に植えられていました。赤い色を魔除けの色と考えていたため、田畑へ病原菌や野獣の侵入を防ぐために植えたのです。また「赤」色は古くから慶事に使われ、現在でも赤飯などが祝いに使われています。人々の暮らしを彩る祝い事と関係の深い小豆だからこそ、現在まで大切に受け継がれてきました。

400年の歴史と生産量の減少

古くから朝廷や幕府に献上されてきた丹波大納言小豆は、丹波市の伝統的な特産品です。春日町東中に建つ記念碑には、「大納言小豆発祥の地」と書かれ、江戸時代（1705年）にはすでに市内で生産されていたことを示す文献も残っています。

歴史に裏付けられた価値と安定した品質から、市場の高い評価を得ている丹波大納言小豆。しかし近年は、生産者の高齢化や天候不順などで生産量が伸び悩み、市内で目にする機会が減少しています。そんな中、生産・普及活動の両面から丹波大納言小豆を支える人々を紹介します。



◀丹波大納言小豆の風味や大きさを生かして、粒の形を残して煮た「鹿の子」。他産地の小豆とは違い、煮崩れしにくい小豆です。



▲ぜんざいやお饅頭・お茶などに加工されます。



春日町東中に建つ記念碑



生産者や市民に小豆の価値を知ってほしい。

市内では約1,200人の生産者が丹波大納言小豆を栽培され、おおむねJAに出荷いただいています。出荷された小豆の大半は卸業者を通じて高級和菓子の原料となり、約10分の1は市内で流通しています。丹波大納言小豆の栽培された丹波大納言小豆の評判はよく、市場から強い要望があるのですが、近年は天候不順や病害虫により収穫量が伸び悩み、需要に対して供給が追いついていないのが現状です。そのため、JAでは生産者の作業負担を減らして栽培面積を拡大するため、4台の色彩選別機を導入しました。市場の声を生産者につなぎ、全国に誇る農産物を栽培しているということを生産者自身で感じていただけるよう、JAはこれからも生産・販売の両面でサポートしていきます。



JA丹波ひかみ
営農販売課
亀井翔太さん

一粒へのプライド

小豆栽培20年
青垣地域 足立音三郎さん（77歳）
おとさふろう



上：収穫時期を待つ小豆 中：熟練の運転で 300kg はある脱粒機を自在に操作する 下：収穫したての小豆



上：汎用コンバインでも収穫作業を行う
下：小豆選別機を使って選別の速度・精度を上げる



丹波大納言小豆生産振興会
会長 中出靖大さん（39歳）
やすひろ

20年栽培のベテラン

青垣地域で小豆を栽培して20年になるベテランの足立音三郎さんは、兼業農家として若いときから農業に携わってきました。退職を機に本格的に小豆の栽培を開始。栽培面積は次第に拡大し、今年は230アールで小豆を栽培しました。そのうち市内で4事業者しか栽培できない、種子になる小豆も200アール栽培しています。

排水対策をしっかりと

小豆は水分に弱い作物で、水に浸かると早く赤くなり、実が大きくなるため、足立さんは特に排水対策をしっかりと行っています。また、種まきの時期を守ること、雑草対策に力を入れることなど、栽培の基本を大切にしています。

米に比べ、小豆は手がかかる作物です。ただし、手をかける分だけ良い小豆がとれること、米よりも利益が高いことが栽培意欲を高めることにつながっているそうです。最近の異常気象で栽培はさらに難しくなっています。しかし、足立さんは「働くことが元気の源。80歳までは続けて栽培したい」と意気込んでいます。

栽培面積拡大をめざして

米農家だった両親から経営を引き継ぎ、春日地域で小豆を栽培する中出靖大さん。栽培面積拡大のため、稲作と作業時期が重ならない小豆を栽培しています。栽培を始めてまだ7年。小豆農家の中では若手です。毎年収穫量アップと作業の効率化を目指して、機械の導入など試行錯誤しています。

生産振興会の初代会長に

7月、中出さんは、今年発足した丹波大納言小豆生産振興会の初代会長に就任しました。経験豊富な年上の生産者と共に、安定生産をめざして生産者間の栽培技術の共有に取り組んでいます。

小豆は気候に左右される作物です。さらに市内各地域で耕地の条件も異なるため、どこでも栽培ができるように、栽培方法などを改良する必要があります。中出さんは語ります。

米に比べて約3倍の利益がでると言われる小豆の栽培は魅力的ではあるものの、栽培の難しさが生産量の伸び悩みの原因になっています。中出さんは「高齢化が進むなか、小豆を作ることで市の農業が守れる。誰でも小豆を作れるようにサポートしたい」と語ります。

小豆の栽培カレンダー

5月～7月



畝立て

雨水が溜まらないように排水対策をしっかりと行う

7月



種まき

手作業で均等にまく

8月



中耕・病害虫防除

小豆の成長をサポート・見守る

9月

10月



収穫

実がはじけないようにとる

11月



脱粒

枝を束ねて粒を取り出す



乾燥

箱いっぱい（約450kg）で8時間程度



選別

種子小豆は手でごみや形の悪い物を分ける

12月

出荷

受け継ぎたい伝統の味

市内に広がり



学校給食で伝統の味を味わう

子どもたちにも市の特産に親しんでもらおうと、年に5回市内の全小・中学校の給食で小豆を使った料理が提供されています。

昨年からは、小豆料理を提供する回数を増やして、JA・生産振興会などの協力のもと実施されています。子どもたちは、給食時間中に生産者から丹波大納言小豆の栽培の工夫や味の特徴なども学んでいます。



ぜんざい給食を楽しむ児童



ぜんざいフェアで栗入りぜんざいをPR

市内飲食店でぜんざいフェア開催

市内32の飲食店で丹波大納言小豆を使った多種多様なぜんざいを提供するぜんざいフェアが、2月18日まで開催されています。生産された大納言小豆のほとんどが市外に出荷されるなか、産地である丹波市内で小豆の良さを味わってもらい、小豆に愛着と誇りを持つてほしいと始められました。また、ぜんざいを通して市外の人にも市の特産をアピールしていきます。



白雪大納言
の「鹿の子」

新たな品種「丹波白雪大納言」誕生

備中小白豆と丹波大納言小豆を掛け合わせて生まれた「丹波白雪大納言」小豆。通常の小白豆より粒が大きく、雑味の少ないあっさりとした味わいが特長の小豆です。丹波大納言小豆と組み合わせ、新たな名品になることが期待されます。

商品開発で魅力を伝える

11月29日、市内の和・洋菓子店製作の丹波白雪大納言を使った新商品が披露されました。丹波白雪大納言を地元の業者に使ってもらい、市内にも広く魅力を伝えるという試みです。

商品は10月末から順次市内の菓子店で販売され、購入することができます。発表会には丹波白雪大納言の生産者も集まり、生産力・品質・魅力の向上をめざして活動したいと話しました。

特産・丹波大納言小豆を受け継ぐ

伝統を未来の子どもたちに受け継ぐため、生産者・販売店・市民が一体となって「丹波大納言小豆」を育む取り組みは続きます。

丹波大納言小豆 ぜんざいフェア



丹波市内
の飲食店
32店舗参加

丹波市は
今年も、
ぜんざいの町に。



問い合わせ先
丹波大納言小豆ブランド戦略会議
丹波大納言小豆ぜんざいフェア担当
株式会社ご近所 azuki@gokinjo.sc

主催
丹波大納言小豆ブランド戦略会議
兵庫県丹波県民局/丹波市/丹波ひかみ農業協同組合/丹波市商工会/丹波市観光協会/丹波大納言小豆生産振興会

ぜんざいマップのダウンロード、
最新情報はここから

丹の里 農・森・人 NOW
<http://magocoro.tamba.sc>

HP

平成 30 年度じんけん標語

入賞者を発表します

氷上文化センター ☎ 82 - 1064

平成 30 年度「じんけん標語」に市内の小中学校から 202 人の応募がありました。入賞者を発表します。

- 小学 5 年生の部
- 優秀賞 余田美羽さん（竹田小）
 - 「なにげなく 言った言葉を 考えて」
 - 優良賞 井本陽葵さん（新井小）
 - 「差別の芽 小さな根っこも 残しません」
- 小学 6 年生の部
- 優秀賞 宝子天音さん（西小）
 - 「見てる人 それがいじめを なくすかぎ」
 - 優良賞 小川生時さん（久下小）
 - 「歩みよる やさしさ勇氣 自分から」
- 中学 1 年生の部
- 優秀賞 稲畑妃依莉さん（市島中）
 - 「大きくしよう 誰もがはいれる 仲間の輪」
 - 優良賞 殿村一誠さん（市島中）
 - 「あそこにも 差別やいじめが かくれんぼ」
- 中学 2 年生の部
- 優秀賞 後藤みなみさん（山南中）
 - 「さしのべられた その温かな手が 私の光」
 - 優良賞 濱田結月さん（柏原中）
 - 「つみとろう いじめのつばみが ふくらむ前に」
- 中学 3 年生の部
- 優秀賞 前田成美さん（氷上中）
 - 「私の手 助けあえる 素敵な手」
 - 優良賞 足立健さん（青垣中）
 - 「人権の 言葉だけでは 人の心は守れない」

HP

終了します

平日夜間応急診療室

地域医療課（氷上保健センター内） ☎ 82 - 4611

現在、柏原赤十字病院で実施している平日夜間応急診療室は、平成 31 年 3 月 29 日で終了します。体調不良などによる夜間受診の相談は、電話相談窓口か消防本部にお問い合わせください。

- 電話相談窓口
- ①丹波市夜間医療健康相談ホットライン ☎ 0120 - 737 - 180
 - ②小児救急医療電話相談 ☎ 72 - 4396
- 消防本部 / ☎ 72 - 2255

HP

国民健康保険を正しく使いましょう

整骨院などのかかり方

国保・医療課（氷上保健センター内） ☎ 82 - 6690

整骨院や接骨院の施術には、国民健康保険が使えるものと使えないものがあります。医療費の適正化にご協力ください。

- 国民健康保険が使えるもの
- 医師や柔道整復師に、外傷性の負傷と診断されて施術を受けたときの
- ①捻挫・打撲・肉離れ
 - ②骨折・脱臼の応急手当
- 国民健康保険が使えないもの
- ①疲労性・慢性的な肩こりや筋肉疲労
 - ②脳疾患後遺症などの慢性病
 - ③症状の改善がみられない長期の施術
 - ④病院などで同じ負傷を治療しているもの
 - ⑤交通事故や労働災害が原因のもの

HP

ミルネコラム

ミルネを知ろう その1

地域医療課（氷上保健センター内） ☎ 82 - 4611

市の保健・医療・福祉・介護を担う「健康センターミルネ」は 3 階建ての施設です。今回は 1 階を紹介します。1 階には「ミルネ診療所」と「休日応急診療所」があり、入院や手術が必要なく帰宅が可能な人に対して行う 1 次救急医



健診センター
完成予想図

HP

たんば青春俳句祭

入賞作品が決定！

市民活動課（氷上住民センター内） ☎ 82 - 0409

HP

早期発見をめざして

がん検診の費用を助成

健康課（氷上健康センター内） ☎ 82 - 4567

がん検診の受診料を助成しています。助成対象になる人は、受診前に健康課に申し込み、受診券を受け取ってから指定医療機関に予約してください。がんによる死亡者数は全国で年間 30 万人を超え、死亡原因の 1 位です。無症状のうちに「がん」を早期に発見し治療するために、がん検診を受けましょう。

■対象者 / 平成 31 年 3 月 31 日現在 40 ～ 74 歳で、平成 30 年度の丹波市がん検診を受診していない人

■対象の検診 / 胸部レントゲンによる肺がん検診・バリウム検査による胃がん検診・便潜血反応検査による大腸がん検診

■場所 / 柏原赤十字病院・大塚病院

■申込期限 / 平成 31 年 2 月 28 日（木）

※指定医療機関の予約状況により、受診できない場合があります。早めに健康課まで申し込んでください。

HP

介護職員初任者研修の

受講費用を助成します

障がい福祉課（春日庁舎内） ☎ 74 - 0222

介護の仕事に従事する人を増やし、障害者施設などへの就労定着を目指すため、介護初任者や介護職を希望する人が必要な基本知識・技術を身につける介護職員初任者研修の受講費用を助成します。

■対象者 / 以下のいずれにも該当する人

- ①介護職員初任者研修を 1 年以内に受講した人
- ②介護職員として市内の障害者（児）入所施設及び障害福祉サービスを提供する事業所に、継続して 3 カ月以上勤務している人※非常勤の場合は週 3 日以上勤務している人

■助成額 / 介護職員初任者研修受講料※上限 5 万円。他市での研修受講料も対象です。

■助成人数 / 20 人※先着順

■申請方法 / 障がい福祉課に設置、またはホームページに掲載の申請書をご提出ください。

HP

早期発見をめざして

がん検診の費用を助成

健康課（氷上健康センター内） ☎ 82 - 4567

がん検診の受診料を助成しています。助成対象になる人は、受診前に健康課に申し込み、受診券を受け取ってから指定医療機関に予約してください。がんによる死亡者数は全国で年間 30 万人を超え、死亡原因の 1 位です。無症状のうちに「がん」を早期に発見し治療するために、がん検診を受けましょう。

- 対象者 / 平成 31 年 3 月 31 日現在 40 ～ 74 歳で、平成 30 年度の丹波市がん検診を受診していない人
- 対象の検診 / 胸部レントゲンによる肺がん検診・バリウム検査による胃がん検診・便潜血反応検査による大腸がん検診
- 場所 / 柏原赤十字病院・大塚病院
- 申込期限 / 平成 31 年 2 月 28 日（木）
- ※指定医療機関の予約状況により、受診できない場合があります。早めに健康課まで申し込んでください。

HP

介護職員初任者研修の

受講費用を助成します

障がい福祉課（春日庁舎内） ☎ 74 - 0222

介護の仕事に従事する人を増やし、障害者施設などへの就労定着を目指すため、介護初任者や介護職を希望する人が必要な基本知識・技術を身につける介護職員初任者研修の受講費用を助成します。

- 対象者 / 以下のいずれにも該当する人
- ①介護職員初任者研修を 1 年以内に受講した人
 - ②介護職員として市内の障害者（児）入所施設及び障害福祉サービスを提供する事業所に、継続して 3 カ月以上勤務している人※非常勤の場合は週 3 日以上勤務している人
- 助成額 / 介護職員初任者研修受講料※上限 5 万円。他市での研修受講料も対象です。
- 助成人数 / 20 人※先着順
- 申請方法 / 障がい福祉課に設置、またはホームページに掲載の申請書をご提出ください。

2018.12 たんば  10

市民の声

まごころ市長室レポート

市政に関するご意見を、市長が直接お聴きしました。主な議題を紹介いたします。

開催日：11月26日(月)
場所：柏原住民センター

市の協議に民間の意見を取り入れてはどうか

柏原地域 土谷正敬さん

地域に若い人が来てくれるよう、魅力的な仕事を創る必要があります。そのための政策を考える際、民間企業を定年退職された有能な人物に意見を聴くようにしてはどうか。市の発展につながると思います。また、市の担当に話がかかなか伝わらないことがあるので、対応を検討してほしいと思います。

市長 まちを発展させるためには何かしないといけないと考えています。

職員の対応については、まごころを持って対応することを市長訓示で伝えたいと思います。

丹波おじいちゃんの郷を作りたい
春日地域 岡田博美さん
山内一晃さん

大路地区の活性化をめざして、登山家と呼ばれる春日地域の山をPRしたり、登山道の整備をするなどの活動を行っています。環境・施設・住民のバランスの取れた町づくりを行い、全国に発信したいと考えています。その中で、市には「おばあちゃんの里」があるので子どもたちが遊べるオートキャンプ場などを整備した「おじいちゃんの郷」を作ったら、人が春日地域・丹波市に来るきっかけになるのではないかと考えています。



笑顔で話す岡田さん

市長

舞鶴若狭自動車道と北近畿豊岡自動車道の走る春日地域は、物流・観光の拠点として地の利があると思っています。遊び心を持って、楽しく夢を形にされているのがすごいと思います。ぜひ頑張ってください。

100円笑店街の運営について
柏原地域 岩間想治さん
豊嶋のぞみさん

前回の100円笑店街を織田まつり・丹波ルシェと合同で実施したことで、市と地元につながりができ、運営の面でも参考になることが多くありました。さらに距離を縮めるため、次の100円笑店街で市がブースを出せば、街の活性化に向けてお互いが協力し合える関係になれるのではないのでしょうか。

市長

観光は、1000人の観光客に来てもらえるより、1000人の客が10回リピーターとして来てくれる方が、その土地の魅力が高いのだとよく言われます。100円笑店街はリピーターが多いということなので、理



熱意あふれる豊嶋さん

保護猫活動に対する支援を
柏原地域 足立真紀さん

野良猫などの保護活動が増えすぎて、餌付けなどで数が増えすぎて、保護では追いつかなくなっています。そのため、野良猫が子猫を生まないようにすることで、不幸な命を減らしたいと考えています。が、助成金のルールも難しく、利用者がいないのが現状です。飼う方のマナーをもっと啓発し、正しい知識を持つて飼育管理することで、困っている人が減るのではないのでしょうか。

市長

「地域猫の保護」という主旨を実現するには、自治会単位など広く活動する

必要があるため、どうしても基準が厳しくなってしまう部分があります。ただ、説明不足もあるため、啓発に努めるとともに担当課とも今後の対応を検討したいと思っています。

柏原高校の今後について
校長 井上千早彦さん

医療従事者・教員希望者の多い柏原高校で、勉強会や実習などを通して、その道を歩む心構えなどを身につけられるようにしたいと考えています。地元から出た生徒が市に戻ってきて力を発揮することが市に良い循環を生むと思います。また、国際交流の一環で、外国の高校生と一緒にまちづくりに取り組むなどの試みを行えば、地域活性化にもつながると思います。

市長

新病院での実習や、国際交流のまちづくりプログラムについて、行政の立場から協力できることがあると思います。来年には姉妹都市提携を結んだケント市・オーバン市から両市長が来丹されるので、柏原高校の生徒との交流も願っています。

丹波布のこれからを共に考える

西尾真澄さん vol.25

経歴：札幌市出身。大学卒業後、自然と関わりの深い丹波布に出会い、地域おこし協力隊として丹波布を生かしたまちづくりに取り組む。任期：29年9月～



べています。機織り道具・佐治商人の流通・綿作りなど、昔の様子をご存知の方がおられたら、どこにでも伺いますので、ぜひお話を聞かせください。私の簡単な活動報告を丹波布伝承館に設置しています。ご覧いただき、ぜひお気軽に声をおかけください。



丹波布技術保存会の会議に参加する西尾隊員（中央）



地域おこし協力隊の活動を報告します

こんにちは。昨年9月から地域おこし協力隊として丹波布を生かしたまちづくりに取り組む西尾真澄です。

これまで、丹波布の歴史と史料をまとめた小冊子の発行や、丹波布技術保存会主催の記念事業の開催に携わってきました。

今は、丹波布の文化財的価値を高めるため、他の織物産地の視察や、伝統工芸の専門家からの助言をもとに丹波布の良さを改めて学び直し、これからの可能性・方向性について、丹波布技術保存会をはじめ関係者の皆さんと共に検討を重ねているところです。

また、丹波布の歴史をより深く紐解いていくために、丹波布の生産が盛だった江戸末期～昭和の初め頃の青垣周辺の村の様子も調

市長コラム

丹波語り

あなたまかせの
年の暮れ



「ともかくもあなたまかせの年の暮れ」（小林一茶）

私なりの解釈はこうです。年の暮れに一年を振り返った時「何かとたくさんのお出来事があったけれど、あの時多くの方々にお世話になったお陰様で今ここに立つことが出来ている。そしてまた新しい年を迎えることができる。」と実感します。

単に他人任せにして、流されてきた訳ではなく、自分なりにもがいてきました。それでも人生は思うようにならないし、悲しみ・悩みは尽きることがありません。一生懸命努力したからと言って必ず報われるとは限りませんし、不公平だと思ふこともあります。

そんな時、悲観的に考えず、何

かに頼り、誰かに甘え、身を委ねること・支えてもらうことは決して逃げた事にはなりません。人はか弱く一人では生きていけないものですし、先の見えにくい不透明な世の中だからこそ、支えられ、また誰かを支えながら、次の世代に何かを伝えていかねばならないと思います。

俳人・小林一茶は、その生い立ちから晩年まで、実に過酷な人生を送っています。しかし、それを風刺・洒落な作風に置き換えてきたように思えます。年末になると必ず不思議と思ひ出す名句です。

市政の運営にもさまざまな課題がありますが、多くの方々に支えられていることを改めて感謝し、手と手を取り合って良い市になるよう努力していきたいと思っています。



「はくい式自然栽培」から環境創造型農業の未来を探します。
■とき／1月24日（木）午後3時～5時
■ところ／JA丹波ひかみ本店 3階大会議室
■講演／「自然栽培で経営を成り立たせるには」
■講師／JAはくい販売促進課長 粟木政明さん、生産者 made innature代表 屋後浩幸さん
■参加費／500円※丹波市有機農業研究会会員は無料
■主催／丹波市有機の里づ

有機・自然栽培の経営勉強会

講座・イベント 参加者募集

午後1時30分～3時30分
■ところ／篠山市民センター
■対象／U・I・Jターン希望者、市内在住者など
■内容／①丹波市・篠山市内の企業20社による面接・相談②ハローワーク柏原による職業相談③移住相談
■会場 ハローワーク柏原 ☎72・1070

丹の里・丹波市「味覚フェア」たんばルシエ2018冬
豊かな自然に育まれた旬の食材や料理が集まる「たんばルシエ」で、お気に入り農家や丹波フードを見つけてください。
■とき／1月13日（日）午前10時～午後3時

イベント

す。氏名・内容は公表します。
■とき／1月28日（月）午後1時30分～一人30分
■ところ／春日住民センター
■対象／市内在住・在勤・在学の人
■定員／5人※応募人数が5人を超えた場合は春日地域の人を優先します。
■申込方法／市役所・各支所に設置の申込用紙を提出ください。
■募集期間／1月4日（金）～11日（金）午後5時
■会場 総合政策課（氷上庁舎内） ☎82・0916



■ところ／柏原八幡宮駐車場周辺
■予定出店者／市内の農業者、加工品・飲食物提供者、柏原市街地既存店舗
■体験イベント／いちご狩りや市内の酒蔵めぐり体験など
■会場 シティプロモーション推進室（氷上庁舎内） ☎88・5600

第4弾第17打！和太鼓フェスタ『響演』

地域で活躍するアマチュアアーティスト、舞台スタッフがつくる市民参加型の和太鼓企画です。市内外から10組が出演。新春のステージで『響演』します。
■とき／1月20日（日）開



演・午後0時30分 開場・午後0時
■ところ／ライフピアいちじま大ホール
■出演／丹波市・篠山市・福知山市・朝来市・舞鶴市で活躍する10組
●フェスタを10倍楽しむ企画
1月16日（水）～19日（土）舞台の仕込・リハーサルが見学できます。
■とき・内容／16日（水）舞台・照明・音響仕込▼17日（木）照明・音響・映像仕込 ※16日・17日両日午後7時30分～9時▼18日（金）リハーサル 午後7時30分～10時▼19日（土）リハーサル 午前9時30分～午後5時
■会場 文化・スポーツ課（春日文化ホール内） ☎74・1050

親子で楽しむコンサート『クラシックへのお誘い』2公演

○『親子で楽しむ0歳からのコンサート』
■とき／3月10日（日）
■出演／大阪交響楽団メンバー（ヴァイオリン・チェロ・ピアノ）、うたのおにいさん、おねえさん
○『ヴィヴァルディ…「四季」全曲&カンツォーネ』
■とき／3月21日（木・祝）
■出演／指揮…延原武春 ヴァイオリン…浅井咲乃 テノール…鹿岡晃紀 テレマン室内オーケストラ

●共通事項

■ところ／ライフピアいちじま
■料金／500円、全席自由、3歳以上有料※3歳未満でも座席が必要な場合は有料。まなびすとカードポイント利用対象公演
■チケット／春日文化ホール他各プレイガイド、ローンチケットで販売中。
■会場 文化・スポーツ課（春日文化ホール内） ☎74・1050

H ZETTRIO（エイチ・ゼットリオ）LIVE

愉快的なキャラクターに高い音楽性を兼ね備えたライブパフォーマンスが好評のピアノ・トリオ。丹波市再公演が決定。
■とき／3月31日（日）開演・午後5時 開場・午後4時

■ところ／ライフピアいちじま※全席指定で3歳未満入場不可
■料金／4,000円※当日500円増。まなびすとカードポイント利用対象公演
■チケット／春日文化ホール・ローンチケットで発売 ※発売開始は1月19日から
■会場 文化・スポーツ課（春日文化ホール内） ☎74・1050

U・I・Jターン応援就職フェア in たんば冬

仕事と住まい・暮らしの相談が一度にまとめてできる就職面接会を開催します。
■とき／1月23日（水）

くり推進協議会

間農業振興課（春日庁舎内） ☎88・5028

果樹の剪定教室

■とき／2月8日（金）午後1時30分～3時30分
■ところ／石戸観光農園
■内容／くり・柿・梅・ぶどうなど果樹の剪定方法を学びます。
■定員／30人※先着順
■持ち物／剪定鋏、筆記用具
■申込期限／2月1日（金）
■会場 氷上文化センター ☎82・1064



わんぱくキッズ ウインターキャンプ開催

■とき／2月9日（土）・10日（日）1泊2日



平成31年度丹波OB大 学受講生募集

高齢者の生きがいづくりや、社会参加の推進を目的として受講生を募集し

ます。

■とき／平成31年4月から4年間※4年間の学習を修了された人には修了証を授与します。

■ところ／丹波の森公苑
■内容／特別講座、教養講座、専門講座（健康福祉・地域文化・生活創造）、学外研修など
■対象／おおむね60歳以上の丹波市・篠山市在住者
■募集定員／60人程度
■年間受講料／12,500円

※傷害保険料として別途400円程度
■申込方法／丹波の森公苑・各住民センターなどに備え付けの申込書を郵送・ファックスで提出してください。
■申込期間／1月16日（水）～3月8日（金）
■会場 丹波の森公苑文化振興部 ☎72・5170 ☎72・5164

平成31年度国有林モニター募集

■任期／平成31年4月から1年間

■目的／国有林の事業運営などについて、理解を深めるとともに、意見や要望を聞き国有林野行政に反映させるため。
■対象／県内にお住まいで、森林・林業および国有林に関心のある成人
※国会及び地方議会の議員、地方公共団体の長、常勤の国家公務員、平成28年度から30年度まで3年間連続して国有林モニターになられた人は除きます。
■募集／詳細は、近畿中国森林管理局ホームページをご覧ください。
■申込期限／1月31日（木）
■会場 近畿中国森林管理局企画調整課 ☎06・6881・3406

10月21日にライブピアい
ちじまで、「県スポーツ推
進委員中央研究協議会」お
よび「スポーツ推進フォー
ラム2018」が開催され、
約300人のスポーツ推進
委員が集い、日頃の活動や
取り組みについての事例発
表が行われました。

丹波市は、クォーター
テニス教室などのニユース
スポーツ推進活動について発
表しました。また、他市の
発表では、障がい者スポー
ツの推進を課題にボッチャ
など、新しいスポーツの普
及について紹介されました。
だれもが元気に楽しく「ス
ポーツ」に取り組める手伝
いができるよう、今後の活
動に活かしたいと思います。

閏文化・スポーツ課（春
日文化ホール内） ☎ 88 -
5057

消費生活
ニュース

フリマアプリのトラブ
ル報告が増えています

フリマアプリとは、スマー
トフォンを使い、物品売買
ができるアプリケーション
のことです。利用者が増え
る一方で、トラブルも多く
報告されています。

フリマアプリでは、金銭
や物品のやり取りは、売主
と買主の間に運営会社が入
り仲介しますが、基本的に
取引は個人間で行います。
買主が一定の手続きをせず
代金の支払いが保留となる
などのトラブルが発生した
ときは、当事者間で解決す
るのが原則となっています。
フリマアプリを利用され
るときは規約をよく読んで
トラブル発生時のリスクも
考慮しながら慎重に利用し
ましょう。

閏丹波市消費生活センター
（くらしの安全課内） ☎ 82 -
0996

じんけんのとびら

相手を思う気持ちを大
切に

今年も残すところあとわ
ずか、今年1年を振り返っ
てみて、心が温かくなる出
来事はありませんか？
人の優しさに触れると心
が温まり、思いやりをもっ
て接することの大切さを感じ
ます。思いやりをもって
接するためには、相手がど
う思い、どのようなことで
困っているか「想像する力」
が必要です。自分のことだ
けでなく、周囲の人や出来
事、社会の動きなどに関心
を持ち、視野を広げること
が「想像する力」につなが
ります。

相手を「思う」気持ちを
大切にし、すべての人の人
権が守られる温かい社会に
していきたいよう。

閏人権啓発センター（氷
上住民センター内） ☎ 82 -
0242

「平日夜間応急診察室」と「休日応急診療所」1月の当番医（敬称略）

丹波市平日夜間応急診療室〔柏原日赤〕					休日応急診療所	
受付時間 / 午後7時30分～9時30分 ※来院前に☎72-0556へ電話してください。 ※平日昼間はかかりつけ医で受診して下さい。					受付時間 / 午前9時～11時30分 午後1時～4時30分 ※来院前に☎72-2480へ電話してください。	
月	火	水	木	金	土	日
	1 細見成一 （婦人科） ⑥	2 大塚病院医師 （内科） ⑥	3 船坂眞里 （外科） ⑥	4 中澤 敏 （内科）	5	6 田中 潔 （内科） ⑥
7 田中 潔 （内科）	8 細見成一 （婦人科）	9 中川泰洋 （内科）	10 柏原日赤医師	11 三浦博幸 （内科）	12	13 上田明德 （外科） ⑥
14 中澤 敏 （内科） ⑥	15 久保田孝則 （内科）	16 上田明德 （外科）	17 柏原日赤医師	18 宮崎直之 （外科）	19	20 吉積宗範 （内科） ⑥
21 赤松義樹 （内科）	22 上山知己 （内科）	23 平島 顕 （整形外科）	24 柏原日赤医師	25 野上壽二 （内科）	26	27 石井辰二 （心療内科） ⑥
28 田中庸生 （外科）	29 吉積宗範 （内科）	30 中川泰洋 （内科）	31 柏原日赤医師			

※当番医は変更になる
ことがあります。
診察は応急的なもの
です。症状が悪くなる
場合などは、後日
かかりつけ医を受診
しましょう。医療機
関のお問い合わせは
消防本部（☎72-
2255）まで。

網かけの⑥印
は休日診療所
で受診してく
ださい。

1月の相談

氷住＝氷上住民センター、柏住＝柏原住民センター、山住＝山南
住民センター、青住＝青垣住民センター、市農＝市島農村環境改
善センター、春住＝春日住民センター、氷保＝氷上保健センター、
氷＝市役所 春＝春日庁舎、柏支＝柏原支所、市支＝市島支所、
丹健＝丹波健康福祉事務所

電話の掛け間違いがないようご注意ください！

種別	相談名	日・曜日	時間	場所	問い合わせ先
消費	消費生活相談	平日（祝日除く）	午前8時30分～ 午後5時15分	消費生活センター （くらしの安全課内）	丹波市消費生活センター ☎ 82 - 0996 消費者ホットライン※土日 ☎ 188
行政	行政相談	4日（山住）、10日（青住）、15日（春住）、16日（柏住）、 17日（市農）21日（氷） 時間 / 午後1時30分～3時30分			総務課 ☎ 82 - 1002
人権	特設人権相談所	15日（山住）、17日（氷住）、21日（市農） 時間 / 午後1時30分～4時			柏原人権擁護委員協議会 ☎ 72 - 0176
	総合生活相談 （隣保館相談）	電話 平日 出張 15日（山住）、21日（市農） 時間 / 午後1時30分～4時	午前9時～午後5 時	来館相談も可能	氷上文化センター ☎ 82 - 1064 七日市会館 ☎ 74 - 2310 ※電話相談は氷上文化センター のみ
法律	行政書士による 無料相談会	5日	午後1時30分～ 4時	柏住	県行政書士会摂丹支部（荒木） ☎ 72 - 4696
	無料登記法律相談	17日	午後1時30分～ 4時	柏住	松尾信幸事務所 ☎ 82 - 7174 ※共催 県司法書士会たんば支 部・県土地家屋調査士会但馬支部
安全	市民生活の安全・安心 確保のための指導相談	月・火・木・金 月・火・水・金	午前9時～午後5 時	氷 春	総務課 ☎ 82 - 1002 春日支所 ☎ 74 - 0221
福祉	認知症介護者相談日	11日	午前10時～正午	春・1階相談室2	介護保険課 ☎ 74 - 0368
	高齢者権利擁護相談日	10日	午前10時～正午	春・1階相談室2	介護保険課 ☎ 74 - 0368
	高齢者こころの医療相 談日～もの忘れ相談～	22日	午後2時～4時	春・1階相談室2	介護保険課 ☎ 74 - 0368
	知的障がい者相談	9日※前日正午 までに要予約	午後1時30分～ 3時	春・1階相談室2	障がい福祉課 ☎ 74 - 0222
	こころの健康相談 （障がい福祉）	24日※前日正午 までに要予約	午後1時30分～ 3時	春・1階相談室2	障がい福祉課 ☎ 74 - 0222
	身体障がい者相談	22日（氷上健康福祉センター）、25日（柏原福祉センタ ー）時間 / 午後1時30分～3時			障がい福祉課 ☎ 74 - 0222
健康	健康・栄養相談	10日（山住）、17日（市支）、24日（青住） ※「減塩相談」同時開催 受付時間 / 午前9時30分～11時（予約優先）			健康課 ☎ 82 - 4567
医療	夜間医療健康相談	年中無休 午後7時～午前0時		電話相談	丹波市夜間医療健康相談ホットライン ☎ 0120 - 737 - 180
	小児救急医療相談	年中無休 午後5時30分～翌午前 8時 / 土日祝年末年始 午前8時 ～翌午前8時		電話相談	小児救急医療電話相談窓口 ☎ 72 - 4396
	夜間おくすり相談	平日の午後9時～10時30分		電話相談	丹波市薬剤師会 ☎ 080 - 1432 - 8132
若者	ニート・ひきこもり相談	毎週金曜日 / 月4回午前10時～午 後4時※要予約		氷住（第1・3金） 春住（第2金） 山住（第4金）	子ども・若者サポートセンター ☎ 88 - 5070

「年末年始」の休日応急診療所・歯科救急・薬局当番医（敬称略）

種 別	12/29（土）	12/30（日）	12/31（月）	1/1（火）	1/2（水）	1/3（木）
休日診療所（休日昼間）	かかりつけ医に ご相談ください	かかりつけ医に ご相談ください	田中庸生 （外科）	野上壽二 （内科）	上山知己 （内科）	柳浦敬子 （整形外科）
歯科救急診療 診療時間 9:00～正午 ※来院前にお電話を	かかりつけ医に ご相談ください	吉竹歯科医院 （市島町市島） ☎ 85 - 0527	清水歯科医院 （山南町谷川） ☎ 77 - 3111	谷水歯科クリニック （柏原町柏原） ☎ 73 - 0648	佐竹歯科医院 （氷上町御油） ☎ 82 - 2045	うめおか歯科クリニック （柏原町母坪） ☎ 72 - 4618
休日対応薬局	フラワー薬局（柏原町柏原） ☎ 73 - 1193			かいばら調剤薬局（柏原町柏原） ☎ 72 - 5550		

誰もがいきいきと暮らすために ワクドキフォーラム開催

11月23日、年齢・職業・活動分野を問わず多くの女性がつながり、新たな行動に向けた1歩を踏み出す機会にするため、「たんばの女性“Waku × Doki”フォーラム」が開催されました。話したいテーマごとにグループに分かれ、それぞれの思いや活動内容を話し合った参加者は「新たな人と知り合えて嬉しかった。新しいことに取り組むきっかけになった」と話しました。



テーブルトークで自己紹介する参加者たち

SNSで市の魅力を発信したい！ ニューメディアマスター講座を開催

11月10日・11日、ライフピアいちじまで、60歳以上の市民を対象に、FacebookなどのSNSの使い方を学んで市の魅力発信や農産物の販売促進に役立ててもらおうと「シティプロモーション・ニューメディアマスター講座」が開催されました。現役大学生6人が講師となり、マンツーマンで操作を指導。参加者は「SNSに対する不安が解消できた。黒大豆のおいしさを発信したい」と話しました。



学生から投稿方法を学ぶ参加者たち

にっぽん恐竜協議会 第1回総会を開催



総会であいさつをする谷口市長

12月2日、市役所山南支所で、「にっぽん恐竜協議会」の第1回総会が開催されました。総会では、これまでの加盟自治体（丹波市・篠山市・北海道むかわ町・熊本県御船町）に新たに群馬県神流町かんなまが加わることが承認されました。

また、外国人観光客にPRするため、英語表記を「ジャパン・ダイナソー・コミュニティ」（略称『J D C』）に決め、協力して恐竜を核にした地域づくりを進めることを確認しました。

子育てを楽しめる社会をめざして 心を育む講演会・座談会を開催



講師の辻由起子さんを囲んだ座談会

11月10日、11月の児童虐待防止推進月間に合わせて、心を育む講演会と座談会が開催されました。会場には合計235人が来場し、忙しい子育て中に親子でほっとするような時間を共有しました。

また、こども服交換会とこども食堂が同時開催され、子育て世代に寄り添う取り組みに参加者の笑顔があふれていました。

愛育班活動をご視察 秋篠宮妃殿下が来丹！

11月14日、秋篠宮妃殿下が県の母子愛育班活動のご視察のため、氷上保健センターを訪問されました。秋篠宮妃殿下は2010年から恩賜財団母子愛育会の総裁として、毎年国内各地の愛育班活動を視察されており、県内初の愛育班が旧山南町で誕生したことなどからこのたび来丹。皇族の公式訪問は丹波市発足後初めてのことで、地域のみなさんで歓迎しました。

秋篠宮妃殿下は、県内愛育班の活動状況を聞くなどされた後、プレイルームをご視察。市の愛育班が子育て情報の交換などのために開いている親子調理実習で「ちーたんおにぎり」をつくる様子をご覧になりました。山南町上滝から親子で参加した吉竹美津子さんは「子どもたちがおにぎりをつくる手助けをしていただいた。子どもたちが活発に動くようになると大変ではないですか、と優しく声をかけて下さり、大変嬉しかった。子どもの数が減ってきている中、愛育会の活動で横のつながりもできる。活動の励みになりました」と話しました。



調理実習に参加した親子と談笑される秋篠宮妃殿下



秋篠宮妃殿下のご到着を歓迎する地域のみなさん

秋の叙勲 瑞宝単光章 方山さんが受章を報告

11月16日、秋の叙勲で瑞宝単光章に選ばれた認定こども園わだ副園長の方山さがみさんが市役所を訪れ、谷口市長に受章を報告しました。

方山さんは1981年から保育士として勤め、今年で保育一筋37年。児童福祉に長年携わった経験が評価されました。方山さんは「叙勲は私にはもったいないという気持ち。市の保育が繁栄するよう、これからも頑張りたい」と話しました。



勲記を手に笑顔の方山さん（写真右）

移動型の子ども食堂 どんぐり食堂を開催



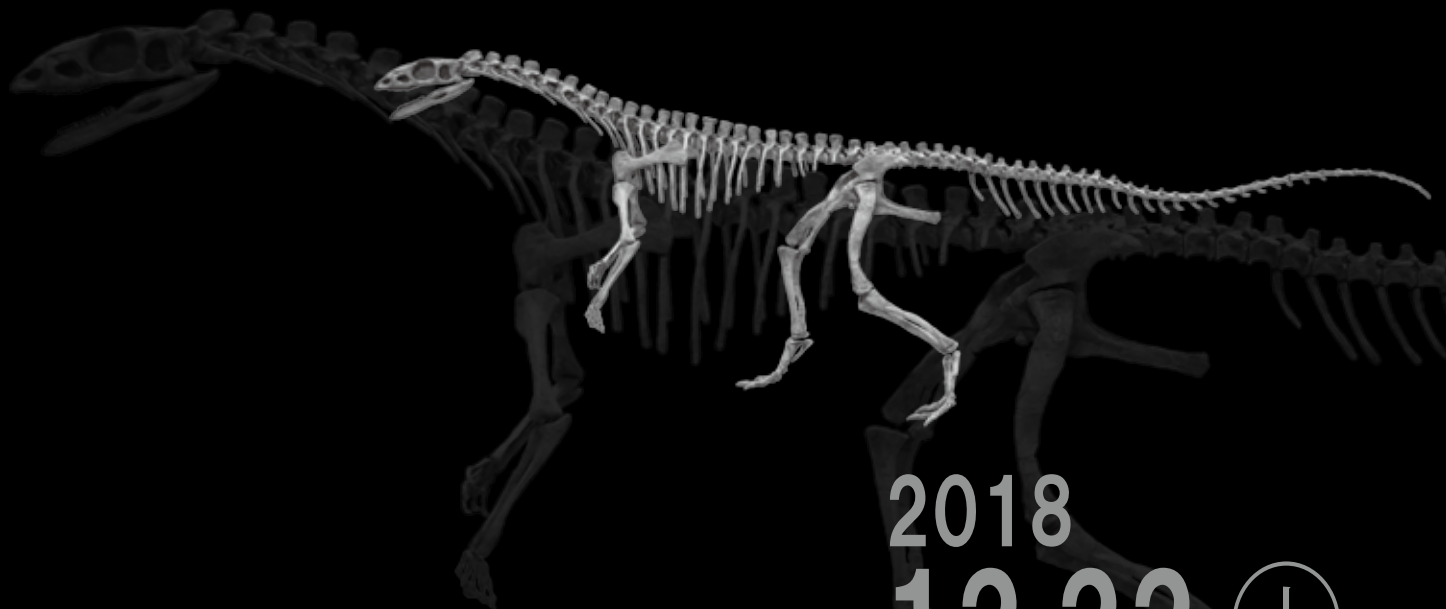
家族で食事を楽しむ参加者

11月28日、春日地域のゆめの樹で、子どもも大人も誰でも集まれる移動型の食堂「どんぐり食堂」が開催されました。どんぐり食堂は、食事を通して家庭と地域がつながり、子どもたちを見守る場を作りたいという思いで、今年3回市内の飲食店を借りて実施されます。

参加者は「季節の野菜が使われていておいしい。子ども達も喜んで食べました」と話しました。

発行／丹波市 編集／企画総務部総合政策課広報係
〒669-3692 兵庫県丹波市氷上町成松字甲賀1番地
市役所 ☎ 0795 (82) 1001 春日支所 ☎ 0795 (74) 0221 柏原支所 ☎ 0795 (72) 0544 青垣支所 ☎ 0795 (87) 1001 山南支所 ☎ 0795 (77) 0240 市島支所 ☎ 0795 (85) 1001 消防本部 ☎ 0795 (72) 2255

平成30年12月20日発行
URL <http://www.city.tamba.lg.jp/>



Asilisaurus kongwe

2018
12.22 (土)



2019
3.3 (日)

平成30年度冬季特別展

なぞ多き恐竜たち — 恐竜ってなんだろう? —



Chilesaurus diegosuarezi

開館時間 10:00~16:00
入館料 大人 200円
小中学生 100円

※団体割引、身障割引あり

丹波竜化石工房ちーたんの館
兵庫県丹波市山南町谷川 1110 番地
TEL 0795-77-1887

【主催】丹波市 【監修】兵庫県立人と自然の博物館
【協力】国立科学博物館 【復元画】菊谷詩子